

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2020年6月29日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

新型コロナウイルス災害を乗り越え 社会保障を充実させ、みんながしあわせになる社会へ



北海道社保協総会開く 深刻な実態やたたかいを交流

6月27日、北海道社保協第27回定期総会が札幌市内で行われ、地域社保協や労働組合、団体などから38人が参加しました。

総会では、1年間の活動のまとめや今後の方針が提案されました。討論では、安倍政権によって、社会保障が改悪され格差と貧困が広がり、新型コロナウイルス災害による深刻な被害の実態や当事者を先頭に共同した取り組みなどが報告されました。

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ●年金裁判の取り組み (年金者組合) | ●白石国保110番の相談活動 (札幌東部民商) |
| ●札幌北区守る会の相談活動 (北区社保協) | ●介護事業所緊急アンケートの結果 (北海道勤医労) |
| ●北海道の新型コロナウイルス対策 (道議会議員) | ●名古屋地裁不当判決と新・人間裁判 (道生連) |

安倍政権は、さらに社会保障を大改悪しようとしています。2020年度は、2021年度からの介護報酬の見直し、高齢者保健福祉計画・介護保険事業(支援)計画づくり、北海道国保運営方針の中間見直しなどが行われます。

多くの国民が新型コロナウイルス災害を通じて、国や社会のあり方を考え始めています。今年の活動の5つの重点や当面、新型コロナウイルス災害に対する相談活動や制度改善の取り組みをすすめることなどを確認しました。

各分野から、「新型コロナウイルス災害の被害や取り組み」について特別報告

道医労連の鈴木緑委員長は、**深刻な医療の実態**を告発しました。マスクや防護服など衛生材料が不足し、感染のリスクのある中の勤務。中には家族への感染も心配し自費でホテルに泊まりながら勤務した人や現場で働く職員へのバッシングなどについても紹介。PCR検査を職員全員、患者や入所者等に行ってほしいと切実な願いを訴えました。



また、道労連の三上友衛議長は、雇止めや減収などで生活が困難になった**労働者の実態やその解決のためのたたかい**、北商連の井上元美事務局長は、休業などで減収になり経営困難になった**中小企業の実態や制度利用の取り組み**、道生連の細川久美子副会長は、地域に案内チラシを配布して相談会を行う中で、寄せられた**生活困窮の実例**を紹介し、**行政への制度の改善を働きかけ**、改善された取り組みについて、それぞれ報告しました。



今年の社会保障学校は**函館** 11月15日(日)

浜矩子さんのオンラインでの記念講演 **決定!**

しあわせな経済・社会のあり方を語る

7月の学習会 11日(土)14時～ 「名古屋地裁判決に学ぶ」 道民医連会館
18日(土)15時30分～ 「マイナンバー制度緊急学習会」 高教組センター